

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 晃治
社会教育課	吉田 茂夫
子ども未来課	吉岡 正俊

重点目標	4 豊かな人間性・社会性を育みます
基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれている」という感覚を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。

1. 施策の方向性

PLAN

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ②生命を大切にすることや他人を尊重することなどを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ④各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。 ⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じた具体的な指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統적かつ一貫性のある指導体制を整備します。
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。 ②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 ③いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。 ④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「まわれ」の相談支援機能を高めます。
3. 家庭・地域の教育力の向上	①各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。 ②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 ③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 ④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。 ⑤地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。 ⑥青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	①子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 ②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国・府・学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにするため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事業一覧

PLAN DO

※各事業の評価・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

ACT

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成

主な取組

1 小・中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。

担当課

H27決算額

H28決算額

H29予算額

評価を踏まえた今後の方向性

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

現状維持

13 子ども放課後対策推進事業	子ども未来課	-	1,133	900	現状維持
放課後等に小学校の余格教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。					
4. 芸術文化を通じた豊かな感性・情緒の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H27決算額	H28決算額	H29予算額	評価を踏まえた今後の方向性
1 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。					
② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	H27決算額	H28決算額	H29予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14 放課後子ども総合プログラム事業	子ども未来課				
国の「放課後子ども総合プログラム」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会を設置する。		-	45	60	現状維持
計		247,996	274,318	309,098	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれている」という感覚を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度	目標値 年度
		不登校児童の発生率<小学校>	—	5人/0.16%	H25 0.37	H28 減少させる H36
		不登校生徒の発生率<中学校>	—	47人/2.49%	H25 2.35	H28 減少させる H36
		いじめの認知件数/発生率<小学校>	—	386件/12.7%	H25 318件 11.7%	H28 減少させる H36
		いじめの認知件数/発生率<中学校>	—	189件/10.2%	H25 22件 2.1%	H28 減少させる H36
		認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25 100%	H28 100% H36
		認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25 100%	H28 100% H36
		いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学校>	%	97.0 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 96.9	H25 99.1	H28 増加させる H36
		いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	93.8 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 93.8	H25 89.7	H28 増加させる H36
主な目標指標		学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学校>	%	90.8 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 90.8	H25 94.0	H28 増加させる H36
		学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	94.4 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 93.9	H25 95.8	H28 増加させる H36
		人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	95.2 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 95.2	H25 93.6	H28 増加させる H36
		人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	94.0 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 94.0	H25 94.0	H28 増加させる H36
		人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	93.2 [全国学力・学習状況調査]児童生徒質問用紙 93.2	H25 95.4	H28 増加させる H36
		人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%		H25 93.6	H28 増加させる H36

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題「基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか」

CHECK ACT

進捗状況区分		評価
◎ 予定以上に進んでいる		《不登校児童生徒の発生率》 不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止の取組や確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、小中学校ともに不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.44%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組が必要である。 《いじめの認知件数/発生率》 いじめの認知件数は、児童生徒への日々の指導、実態把握や情報共有、小中一貫教育における各学園の取組等によって、小中学校ともに改善が見られる。一方小学校では、低学年の件数が増加傾向にあるものの、発達段階の特性によるものと分析しており、認知件数のみにとられず、より丁寧な指導を組織的に継続していく必要がある。 《認知されたいじめの年度内解消率》 認知されたいじめの年度内解消率は、年間3回のいじめ調査による実態把握や教職員の情報共有、児童生徒への丁寧な指導、いじめについて指導しきる体制確保等により、年度内に全て解消した。今後も完全解消を継続するため、さらなる体制強化とともに実態把握と丁寧な指導を進めていく必要がある。 ○ 《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や児童生徒への丁寧な指導により、中学校でやや低下したものの小中学校ともに高い水準にある。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、学校の教育活動全体を通じた取組を進めていく必要がある。 《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、中学校でやや減少したものの、各校、各学園におけるきめ細やかな指導や小中一貫教育による一貫性のある指導等によって確実に規範意識が高まってきている状況が見られる。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成についての系統的な指導を進めていく必要がある。 《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学校でやや減少したものの、小中学校ともに比較的高い数値となっており、教育活動を通じた指導による人の気持ちを分かち行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。 《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、中学校でやや減少したものの、小中学校ともに比較的高い数値となっており、教育活動を通じた指導による社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後さらに高めていくため、ボランティア活動による体験学習等の充実を図る必要がある。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(平成29～31年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具 体 的 内 容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、小中一貫教育による交流学習や合同行事などの集団活動を充実させるとともに、道徳の教科化を踏まえ、系統的で一貫性のある道徳・人権教育の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく子ども教室間での情報交流活動についても補助し、いきながら教室の運営や拡充に努める。青少年健全育成会でも、各地域ごとに子供の体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みイベントなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また、平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指すとともに、実施可能な施設を模索する。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書支援員の継続配置と学校図書の充足率向上を図る。

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業		
細 事 業 名	02 小学校教育推進活動実践事業				決算書	P.328
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
2,738千円	2,920千円	182千円	93.7 %	3,181千円		
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	○教育実践研究指定事業					
	・もうすぐ1年生体験入学推進事業					80千円
	府指定：弥栄小					
	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動					1,306千円
	・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校）					568千円
	・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校）					738千円
主要な事務・事業の概要	○サイエンス・パートナーシップ校（網野北小学校）					84千円
	児童の科学技術、理科、算数への興味・関心や知的探究心を育成するため、京都工芸繊維大学と連携し「理科わくわく体験教室」を実施。					
	実施日：平成28年7月15日（金）					
	受講児童：6年生41人					
	○予防教育（実践校：弥栄小学校）					592千円
	いじめや不登校を起こさせない教育を推進するため、子どもの特性を踏まえ科学的根拠をもった予防教育プログラム（鳴門教育大学開発）を実践。					
主要な事務・事業の概要	○教育研究事業負担金					250千円
	○修学旅行引率補助金					426千円
	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3）				378千円
	府補	もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（1/2）				40千円
	府補	自殺対策事業補助金（10/10）				493千円
	成果・課題	○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。				
○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。						
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業	
細 事 業 名	02 中学校教育推進活動実践事業				決算書 P.336
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,524千円	1,584千円	60千円	96.2 %	1,314千円	
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。				
主要な事務・事業の概要	○教育実践研究指定事業200千円 ・法やルールに関する教育研究指定事業200千円 府指定：久美浜中学校区 ○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動621千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校）362千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校）259千円 ○和装教育推進事業339千円 ・着付け体験学習（全中学校） ○教育研究事業負担金112千円 ○修学旅行引率補助金252千円				
主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3）			238千円
	府委	法やルールに関する教育研究指定事業費委託金（10/10）			200千円
成果・課題	○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。				
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業
細 事 業 名	01 いじめ防止啓発推進事業			決算書 P.314
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
216千円	335千円	119千円	64.4 %	335千円
目 的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。 ○報償費 92千円 - いじめ防止講演会講師謝金 - 開催日：平成28年11月15日（火） 会場：アグリセンター大宮 - 講 師：特定非営利法人ジ・エントラート・オブ・イオ 理事 小森美登里氏 - 参加者数：102人 ○需用費 98千円 - 印刷製本費 90千円 - いじめ防止講演会チラシ（21,000枚） - いじめ防止啓発グッズ（PRカード 児童用300枚） - 消耗品費（講演会花代、事務用品） 8千円 ○役務費 26千円 - いじめ相談専用電話設置費 - フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 - 相談受付：24時間対応 - 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件 ○インターネットモラル研修会 ※京都府の出前講座を活用 開催日：平成28年8月5日（金） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 講 師：京都府総合教育センター 谷田浩平氏・平野学氏 参加者数：52人			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。			
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費		01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業	
細 事 業 名	02 いじめ防止対策等運営事業				決算書	P.314
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率	(参考)当初予算額
248千円	356千円		108千円		69.6 %	356千円
目 的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人）17千円 保育所、幼稚園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：平成28年6月6日（月） 会 場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報償費（委員謝金）16千円 ・旅費（費用弁償）1千円					
	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人）231千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する審議を行った。 開催日：第1回 平成28年11月12日（土） 第2回 平成29年3月25日（土） 会 場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬126千円 ・旅費（費用弁償）89千円 ・消耗品費16千円					
主 な 財 源	国補 教育支援体制整備事業費補助金（1/3）					77千円
成 果 ・ 課 題	○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。					
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目		10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業		
細 事 業 名		01 指導主事設置事業				決算書	P.308
総 合 計 画		計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実				
		(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
9,821千円		9,883千円		62千円	99.3 %	9,991千円	
目 的	非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	・ 4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 ○報酬 7,992千円 ・ 指導主事報酬（166,500円×4人×12か月） ○共済費 1,263千円 ・ 社会保険料 ○旅費 566千円 ・ 費用弁償						
主 な 財 源							
成 果 ・ 課 題	学校経営、教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。						
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課					

予 算 科 目		10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業	
細 事 業 名		01 就学支援・教育相談事業				決算書 P.310
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実				
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
2,162千円		2,162千円		0千円	100.0 %	2,162千円
目 的	児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○教育相談委託料1,920千円 各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談事業や研修を実施した。 ・ 相談会場大宮庁舎内会議室 ・ 実施回数毎月2回（80,000円×月2回×12か月） ・ 相談件数99件（延べ件数） ・ 教育相談担当者研修（年3回）、心の教室相談員研修（年3回） ・ 事例研修（3グループ（1グループ5人））各グループ年5回実施 ○就学指導に係る発達検査記録用紙セット等242千円 WISC-IV知能検査記録用紙、知能検査換算アシスタント LDI-R検査記録用紙					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	○専門性の高い臨床心理士による研修や教育相談を継続して実施することで、児童生徒の問題行動の防止や不登校等の解消につながった。 ○教員が心理発達アセスメントの実施や分析を行い、教育相談や就学指導に活用するためには、研修等を通じて専門性をより高める必要がある。					
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業
細事業名	02 教育支援センター管理運営事業			決算書 P.310
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,894千円	8,121千円	227千円	97.2 %	9,152千円
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。			
主要な事務・事業の概要	不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「麦わら」の指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行った。 教育支援センター運営経費 配置人数 5人 教育支援センター指導員 配置体制 3人体制 指導員 ①週2日 1日7時間 1人 ②週3日 1日7時間 4人 通所者 14人 相談延べ件数 1,006件 来所延べ人数 1,792人 ○共済費（労災保険料） 21千円 ○臨時職員賃金（指導員） 6,843千円 ○旅 費（研修会出席） 10千円 ○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料、医薬材料費） 359千円 ○役務費（電話代、切手代、自動車登録手数料、自動車損害保険料） 105千円 ○教育相談委託料 509千円 相談延べ件数 42件 ○バス運転委託料（野外体験学習） 24千円 ○備品購入費（ストーブ） 20千円 ○公課費（自動車重量税） 3千円			
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 5,000千円			
成果・課題	○専門性の高い指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることができた。 ○教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者への更なる周知が必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業																																																													
細 事 業 名	01 小学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.328																																																													
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実																																																															
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実																																																															
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																																																													
48,833千円	49,006千円	173千円	99.6 %	59,752千円																																																													
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																																
主要な事務・事業の概要	○介護職員兼学校図書館支援加配 14人（1日7時間45分、週5日勤務）																																																																
	○介護職員 15人（1日7時間、週5日勤務）																																																																
	○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 1人（1日7時間、週5日勤務）																																																																
	心の教室相談員：大宮第一小学校																																																																
	学校図書館支援加配：高龍小学校																																																																
	○学校図書館支援加配 2人（1日7時間）																																																																
	いさなご、丹波、長岡小学校に週1日勤務																																																																
	島津小学校に週1日勤務（学校事務補助と兼務）																																																																
	・臨時職員賃金 40,468千円																																																																
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 6,802千円																																																																
・事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金） 24千円																																																																	
・委託料（児童の看護・介護委託料） 1,539千円																																																																	
配置一覧																																																																	
<table><tr><td>学校名</td><td>介護</td><td>相談員</td><td>学校名</td><td>介護</td><td>相談員</td></tr><tr><td>峰山小</td><td>2人</td><td></td><td>豊栄小</td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>いさなご小</td><td>2人</td><td></td><td>間人小</td><td>2人</td><td></td></tr><tr><td>新山小</td><td>2人</td><td></td><td>宇川小</td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>大宮第一小</td><td>3人</td><td>1人</td><td>吉野小</td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>大宮南小</td><td>2人</td><td></td><td>弥栄小</td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>網野北小</td><td>2人</td><td></td><td>久美浜小</td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>網野南小</td><td>2人</td><td></td><td>高龍小</td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>島津小</td><td>1人</td><td></td><td>かぶと山小</td><td>3人</td><td></td></tr><tr><td>橋小</td><td>2人</td><td></td><td>計</td><td>29人</td><td>1人</td></tr></table>						学校名	介護	相談員	学校名	介護	相談員	峰山小	2人		豊栄小	1人		いさなご小	2人		間人小	2人		新山小	2人		宇川小	1人		大宮第一小	3人	1人	吉野小	1人		大宮南小	2人		弥栄小	1人		網野北小	2人		久美浜小	1人		網野南小	2人		高龍小	1人		島津小	1人		かぶと山小	3人		橋小	2人		計	29人	1人
学校名	介護	相談員	学校名	介護	相談員																																																												
峰山小	2人		豊栄小	1人																																																													
いさなご小	2人		間人小	2人																																																													
新山小	2人		宇川小	1人																																																													
大宮第一小	3人	1人	吉野小	1人																																																													
大宮南小	2人		弥栄小	1人																																																													
網野北小	2人		久美浜小	1人																																																													
網野南小	2人		高龍小	1人																																																													
島津小	1人		かぶと山小	3人																																																													
橋小	2人		計	29人	1人																																																												
主な財源	府補 未来づくり交付金（小学校スクールサポーター等設置事業） 15,602千円																																																																
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																																
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																																																																

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業
細 事 業 名	01 中学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.336
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
46,606千円	46,742千円	136千円	99.7 %	54,072千円
目 的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○介護職員 6人 (1日7時間、週5日勤務)			
	○講師 (小中一貫) 12人 (1日7時間45分、週5日勤務)			
	○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 6人 (1日7時間45分、週5日勤務)			
	・臨時職員賃金 40,009千円			
	・共済費 (社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 6,595千円			
	・事務費 (旅費) 2千円			
	配置一覧			
	学校名	介護	小中一貫 講師 コーディネーター	相談員 参考計
	峰山中	1人	1人	1人 4人
	大宮中	1人	1人	1人 4人
	網野中	1人	1人	1人 4人
	丹後中		1人	1人 3人
	弥栄中	2人	1人	1人 5人
	久美浜中	1人	1人	1人 4人
	計	6人	6人	6人 24人
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金 (中学校スクールサポーター等設置事業)			15,000千円
成 果 ・ 課 題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。			
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課		

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	03家庭こども相談室事業																																				
細 事 業 名	01 家庭こども相談室事業			決算書 P.160																																				
総 合 計 画	計 画 項 目	25 子育て支援の総合的な推進																																						
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進																																						
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																																				
312千円	358千円	46千円	87.1 %	358千円																																				
目 的	家庭における児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	家庭における児童福祉の向上のため、支援の必要な児童や家庭（児童虐待・育児不安・養育力危惧・不登校等）について、相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行うとともに、要保護児童対策地域協議会の充実と連携を図り情報共有と支援・対応・協議等を行った。																																							
	○事業実績額																																							
	報償費	京丹後市要保護児童対策地域協議会講演会講師謝礼	100千円																																					
	旅費	担当者会議・研修旅費等	121千円																																					
	需用費	事務用品等（消耗品費）	39千円																																					
	役務費	手数料等（専用携帯電話使用料）	31千円																																					
	使用料及び賃借料	有料道路通行料	11千円																																					
	負担金	京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円																																					
	○京丹後市児童相談等取扱件数（児童票を起こしているもの）																																							
	<table><tr><td>種別</td><td>詳細</td><td>件数</td><td>種別</td><td>詳細</td><td>件数</td></tr><tr><td rowspan="2">養護</td><td>児童虐待</td><td>124</td><td rowspan="4">育成</td><td>性格</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>197</td><td>不登校</td><td>10</td></tr><tr><td>保健</td><td></td><td>0</td><td>適正</td><td>3</td></tr><tr><td>障害</td><td></td><td>8</td><td>育児・しつけ</td><td>2</td></tr><tr><td>非行</td><td></td><td>2</td><td rowspan="2">再掲</td><td>(いじめ)</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td>11</td><td>計</td><td>357</td></tr></table>				種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	124	育成	性格	0	その他	197	不登校	10	保健		0	適正	3	障害		8	育児・しつけ	2	非行		2	再掲	(いじめ)	0	その他		11	計
種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																																			
養護	児童虐待	124	育成	性格	0																																			
	その他	197		不登校	10																																			
保健		0		適正	3																																			
障害		8		育児・しつけ	2																																			
非行		2	再掲	(いじめ)	0																																			
その他		11		計	357																																			
主 な 財 源																																								
成 果 ・ 課 題	○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への支援や対応を行うことができた。 ○適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めていくことが必要である。																																							
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／子ども未来課																																							

予 算 科 目		10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業		
細 事 業 名		01 家庭教育事業				決算書	P.344
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
	(旧計画項目)	30 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,626千円		1,743千円		117千円	93.2 %	1,914千円	
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。						
主要な 事務・事業の 概要	・乳幼児期から就学前・学童期、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。						
	○子育て講座					185千円	
	・幼児期子育て講座		実施回数	3回	延べ参加者数	89人	
	・就学前、学童期、思春期子育て講座		実施回数	4回	延べ参加者数	113人	
	○家庭教育支援チーム事業					898千円	
	＜家庭教育支援チーム＞（各地域公民館6チーム／子育てサポーター48人）						
	地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化が進み、悩みや不安を抱えている親に対して、きめ細かな家庭教育支援を行うことを目的に、子育て経験者や子育てに関わる専門的な知識や経験を持ち、趣旨に賛同するメンバーで構成された「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行う。						
	・子育て交流会（全チーム）		実施回数	28回	延べ参加者数	512人	
	・「手紙で結ぶ家族の絆」事業 （峰山・網野・弥栄・久美浜）		実施回数	各1回	延べ参加者数	238人	
	・子育て広場（全チーム）		実施回数	11回	延べ参加者数	326人	
・高校生と赤ちゃんのふれあい交流 事業（全チーム）		実施回数	24回	延べ参加者数	328人		
・広報誌発行（全チーム）		発行回数		各1回			
○京丹後市PTA協議会補助事業					543千円		
・京丹後市PTA研究大会の開催、子育て講演会の開催、各種研修会の参加、PTA安全会掛金助成							
主な財源	府補	家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）				722千円	
成果・課題	○子どもの発達段階に即した子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めていただくことができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有とより効果的な学習会等の実施を図る必要がある。						
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課					

予 算 科 目		03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業		
細 事 業 名		01 放課後児童健全育成事業				決算書	P.160
総 合 計 画	計 画 項 目	25 子育て支援の総合的な推進					
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
151,160千円		151,301千円		141千円	99.9 %	151,853千円	
目 的	保護者の就労等により放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	保護者の就労等により、放課後及び長期休業期等の昼間に家庭保育を受けることのできない小学校に通学する児童（平成27年度から児童受入を5・6年生まで拡大）を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。						
	○開設状況						
	年間開設日数：290日						
	開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～）						
	年間平均児童数：438人（前年度比68人増）						
	〔 峰山60人・長岡23人・いさなご35人・大宮56人・口大野①44人・口大野②30人 〕						
	〔 網野南36人・網野北28人・丹後31人・弥栄31人・久美浜64人 〕						
	○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 4,781千円						
	○委託料（消防設備・浄化槽点検、児童送迎車運転） 9,601千円						
	○放課後児童健全育成事業委託料 134,711千円						
○工事請負費（峰山：枯れ木伐採工事、いさなご：コンセント回路増設工事、網野南：エアコン設置工事、久美浜：内装工事） 1,059千円							
○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか） 1,008千円							
主 な 財 源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）					14,368千円
	府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）					14,368千円
	使用料	放課後児童健全育成事業利用料					18,486千円
	使用料	公有財産使用料					10,746千円
	諸収入	旧溝谷保育所光熱水費等負担金					244千円
	成 果 ・ 課 題	○利用者数が増加する中、クラス単位を増設するなどして待機児童ゼロを継続し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 ○年々増加する利用者に対応するため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を検討する必要がある。					
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／子ども未来課					

予 算 科 目		10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	18子ども放課後対策推進事業	
細 事 業 名		01 子ども放課後対策推進事業				決算書 P.346
総 合 計 画	計 画 項 目	25 子育て支援の総合的な推進				
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
1,133千円		1,170千円		37千円	96.8 %	0千円
目的	放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かに育まれる環境づくりを推進する。					
主要な 事業・事業の概要	○需用費 275千円 消耗品（カーペット、扇風機、カラーボックス、掃除用具、救急用品等）					
	○委託料 746千円 放課後子ども教室運営委託料 373千円×2箇所					
	○備品購入費 112千円 石油ストーブ、業務用掃除機 各1台 (府補助金：補助率10分の10)					
	※事業の概要					
	網野北小学校区放課後子ども教室		網野南小学校区放課後子ども教室			
	実施場所	網野北小学校施設内		網野南小学校の施設内		
	委託先	放課後子ども教室実行委員会		放課後子ども教室実行委員会		
	参加児童数	延べ326人（1回平均13人）		延べ849人（1回平均33人）		
	支援員の数	延べ255人（1回平均10人）		延べ268人（1回平均11人）		
	実施日	平成28年9月～平成29年3月（授業のある水曜日の放課後）26回				
活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど					
主な財源	府補	京のまなび教室推進事業費補助金（2/3）				680千円
	府補	京のまなび教室推進事業費補助金（10/10）				112千円
成果・課題	○子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、子ども達は異年齢の方と交流し、地域住民の協力を得て様々な体験活動を実施することができた。 ○子ども教室の運営は地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	17放課後子ども総合ﾌﾟﾗﾝ事業	
細 事 業 名	01 放課後子ども総合ﾌﾟﾗﾝ事業			決算書 P.346	
総 合 計 画	計 画 項 目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
45千円	60千円	15千円	75.0 %	60千円	
目的	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会を設置する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成28年3月に策定した京丹後市放課後子ども総合プラン行動計画に基づき、平成28年度から市内2か所の小学校内で放課後子ども教室を開設した。その運営方法を検討するため運営委員会を開催した。				
	○報酬（運営委員会委員）2回分			40千円	
	委員12人のうち、報酬支払対象者6人				
	委員のうち6人（校長会の代表、指導主事等の職員）は報酬なし				
	○旅費（費用弁償）			5千円	
	委員の会議参集旅費 2回分				
	○運営委員会の開催状況				
	第1回会議（平成28年6月29日）				
	・放課後子ども教室の実施について				
	・放課後子ども教室推進事業実施要綱（案）について				
主 な 財 源	第2回会議（平成29年2月23日）				
	・平成28年度放課後子ども教室推進事業（総括）について				
	・平成29年度放課後子ども教室推進事業（計画）について				
	府補				
	京のまなび教室推進事業費補助金（2/3）			30千円	
	成 果 ・ 課 題	○京丹後市放課後子ども総合プラン行動計画に基づき、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設することができた。			
		○京丹後市放課後子ども総合プラン行動計画の推進のためには、スタッフの確保が課題である。			
		事業所管課			
		教育委員会事務局／子ども未来課			

